

事業等把握・確認シート

									実績						
NO	事業名称	事業内容	実施状況 (R5)	記述欄	実施状況 (R6)	記述欄	事業を実施する上での課題	考えられる工夫 課題に対する解決策	内容 (単位)	R1	R2	R3	R4	R5	備考・補足
1	栄養教室	フレイル予防を目的とした栄養教室 R3からは、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の一環として実施	通常通り		通常通り		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の一環から離れないように事業を行う。受講者は、高齢者が多いので解りやすい内容を目指す。	フレイル予防を目的としている。委託先と講義の内容のマンネリ化を防ぐために調整を行う。	回数	4	-	2	4	4	
2	栄養バランス満点教室	親子料理教室の機会を利用して実施。思春期を迎えることもその親を対象にした成長期の栄養についての講話。	縮小	コロナが落ち着き事業を再開した。再開にあたり実施回数を5回から3回に変更した。	通常通り		人気事業である親子料理教室の機会を利用することで、一定数の参加者を確保できているが、親子料理教室自体の参加者が減少傾向にある。	学校との連携。	回数	5	-	-	-	3	
3	食生活改善委託事業	生活習慣病を予防するための食生活の普及啓発 フレイルを予防するための食生活の普及啓発 食育の推進	通常通り	コロナが落ち着き調理実習をコロナ前と同様に実施。	通常通り		リピーターが多いため、若い世代を含む新規参加者の取り込みが課題。	若い世代が集まる場所へ出向く、他事業とのコラボレーション。	回数	14	-	-	6	11	
4	ヘルスアップセミナー	食生活改善推進員及び食生活改善推進員を希望する人を対象に3日間実施。管理栄養士、食品衛生監視員による健康の現状や食品衛生、食と身体に関する講話を実施。	通常通り	コロナが落ち着き事業を再開した。	通常通り		食生活改善推進員を希望する人の減少。高齢化。	食生活改善推進員協議会のPRの仕方を工夫する。	回数	3	-	-	-	3	
5	9か月児育児相談栄養相談	9か月児育児相談実施時に栄養に関する相談を実施。	通常通り		通常通り		個別性が高く、継続支援が必要な場合がある。	保健師との連携。乳幼児育児相談の活用。	人数	188	113	133	145	169	
6	離乳食教室栄養講話・相談	乳幼児健診時に実施(希望者のみ) 栄養士による乳児期の栄養講話及び相談を実施	通常通り		通常通り		調理スキルや育児支援体制に個人差がある。	離乳食づくりが育児の負担にならないよう、ベビーフードの活用や電子レンジの利用を含めた内容とした。	人数	197	210	162	184	221	
7	健康レシピの作成及び配布	生活習慣病、フレイルを予防するための具体的な方法として、バランス食や適切な栄養摂取が可能となるレシピの作成。	通常通り		通常通り				記載不可能	-	-	-	-	-	
8	30代までの健康力アップ健診(女性)	18～39歳の市の健診以外に受診機会のない女性を対象とした健康診査(集団)。 集団がん検診と同時に実施。	通常通り		通常通り				人数	285	93	248	332	324	
9	30代までの健康力アップ健診(女性)事後相談会、事後講座	「30代までの健康力アップ健診」後の健康相談。健診結果と生活習慣の関係をすることで、自らの健康状態、そこに至る生活習慣を振り返り、健康行動をとるきっかけとなるようにサポートする。	通常通り		通常通り				人数	17	4	9	10	7	
10	1歳6か月児健康診査	全ての1歳6か月児に対して実施する健康診査。運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障がいを持った児童を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障がいの進行を未然に防ぐとともに、生活習慣の自立、むし歯予防、幼児の栄養及び育児に関する指導を行い、健康の保持及び増進を図る。	通常通り		通常通り		視覚や聴覚の異常の発見、肥満やう歯の予防、社会性の発達や親子関係、親のメンタルヘルスなど健診で取り扱う健康課題が重層化しており、健康課題のスクリーニングだけではなく、支援(サポート)の視点の重要性が増している。	健診を未受診者含め、すべての親子の状況を確認する機会と位置付け、定期的に支援やフォローアップ状況の見直し等を行うことを充実させる。	人数	321	387	392	382	351	
11	3歳児健康診査	全ての3歳児に対して実施する健康診査。視覚、聴覚、運動、発達等の心身障がい、その他疾病等を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障がいの進行を未然に防ぐとともに、う蝕の予防、発育、栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、健康の保持及び増進を図る。	通常通り		通常通り		3歳児健診の視覚検査は、アンケートと家庭でのランドルト環を用いた検査及び屈折検査(スポットビジョンスクリーナー)を導入したことにより、異常の見逃しは減少されるが、スクリーニングに頼らず、支援(サポート)の視点の重要性が増している。また、今後は異常があった児のフォロー(医療受診へスムーズにつなげること等)や健診受診率を上げていくことが課題。	健診会場で屈折検査(スポットビジョンスクリーナー)を導入による視覚検査の充実を図るとともに、健診後のフォローアップ体制の充実を図る。	人数	378	436	365	396	406	
12	毎日1万歩運動	・年齢に応じて目標歩数を設定。 ・通信機能付活動量計を身につけ、参加者が各自ウォーキング(歩数に合わせ健康ポイント付与) ・個別の記録を集計し、全体の分析結果と合わせて本人に提供	通常通り		通常通り		新型コロナウイルス感染症拡大に伴って中止していた、運動実技講習等を再開したが、高齢や体調不良を理由とした退会者が一定数いるため、登録者の増加にはつながらなかった。 また、参加者同士の交流も少なかったため、社会参加が希薄。	運動実技講習の開催に加え、若年層への参加を促進する為スマホアプリを導入する準備を進めた。より気軽に参加・活動できるよう工夫する。 アプリから参加者向けのお知らせ等を配信できるので、保健事業に関する情報提供にも活用できると考える。	人数	1,706	1,722	1,573	1,412	1,381	
13	健康スタンプ事業	市が主催または推奨する健康づくりに関する教室への参加、健康診断等を受診した人にスタンプカードに健康スタンプを押し、景品が当たる抽選を実施	通常通り		その他(要記述)	令和5年度から「イキイキとまちゃん体操(各通いの場)」を対象としたことで、公民館等での「イキイキとまちゃん体操」のみよりも、参加者が増えた。	スタンプカードの両面に年度を印刷して配布し、年度を確認しやすくした。		人数	359	-	88	293	759	

事業等把握・確認シート

									実績						
NO	事業名称	事業内容	実施状況 (R5)	記述欄	実施状況 (R6)	記述欄	事業を実施する上での課題	考えられる工夫 課題に対する解決策	内容 (単位)	R1	R2	R3	R4	R5	備考・補足
14	健康増進教室参加費用助成事業	市の体育センターで行われる、健康増進に資する運動教室に体験参加する際の費用を助成	通常通り		通常通り		市広報、1万歩運動の事業案内等に案内を掲載し、周知を図っている。		人数	-	-	26	17	8	
15	スポーツ教室及び各種大会	各競技の市長杯大会、スポーツ推進委員委託事業、スポーツ協会主催の大会等	通常通り		通常通り				人数	4,399	581	4,037	5,316	5,827	
16	北本さくらウォーク	参加者は3kmのファミリーコース、6kmのミドルコース、8kmのチャレンジコースに分かれ、沿道の自然や文化財に触れながらゴールを目指す。	通常通り		通常通り				人数	-	-	346	170	416	
17	障がい者スポーツ大会参加支援事業	一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が運営する彩の国ふれあいピック(春季大会・秋季大会)への参加を支援する。 ①埼玉県障害者スポーツ協会や、北本市社会福祉協議会との連絡調整 ②参加者の募集 ③昼食代の補助(北本市社会福祉協議会が負担)	通常通り		通常通り		障がい者の社会参加を促す事業で、事業実施は団体(一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会)が行っている。令和2年度、3年度はコロナウィル感染症拡大により大会が中止となった。コロナ前に比べ参加者数が減っている。	参加者を増やすため、周知を進めていく。	人数	17	0	0	6	7	
18	若返り運動教室	65歳以上の市民を対象として、介護予防の普及啓発に資する運動に係る介護予防教室を開催し、介護予防を推進する。	通常通り		通常通り		イキイキとまちゃん体操への移行から、参加者が減少している	イキイキとまちゃん体操通いの場へチラシ等を配布	人数	212	-	223	148	140	
19	運動講座・教室	市内スポーツ施設から講師を派遣してもらい、ウォーキングや筋力トレーニング等に関する運動講座を実施			通常通り				-	-	-	-	-	-	第二期計画新規
20	健康長寿サポーター養成講座	糖尿病予防教室、出前講座などと同時実施。	通常通り		通常通り	前年よりも出前講座の申込が増えている。出前講座、糖尿病予防教室以外の健康教育でも実施している。	出前講座を積極的に活用しているコミュニティでは実施済みで、内容の変更希望もあるが、講座のパッケージが決まっており、希望に添えない。出前講座と糖尿病予防教室以外の実施の機会がほばない。	未実施の新たなコミュニティの開発。パッケージにプラスして内容のリニューアル。既存の事業以外で個別の健康教育での実施の機会を設ける。	回数	1	0	1	2	3	
21	糖尿病予防教室・フォローアップ事業	糖尿病発症リスクのある人を対象に、保健師や栄養士による講座等を実施(3日間コース)。教室終了後、希望する人を対象にフォローアップ事業を実施(年10回程度)。	通常通り		通常通り		対象者への勧奨はがき発送数からすると、受講者が少ない。	3日間コースの場合、就労者などは参加が難しくなるため、1回完結型のコースなどを作り、個々の実情にあった予防の普及を検討する。	人数	102	35	59	150	166	
22	妊産婦に対するアンケート・面談	妊娠届出時、乳幼児健診時に飲酒や喫煙に関するアンケートを実施			通常通り				-	-	-	-	-	-	第二期計画新規
23	パンフレット・ポスター掲示による普及啓発	受動喫煙・飲酒防止についてポスターやホームページ等で普及啓発を実施			通常通り				-	-	-	-	-	-	第二期計画新規
24	こころの相談	・精神科医師がこころの健康や受診についての相談を行う。 ・年6回実施	通常通り		通常通り		相談を必要とする市民は多くいるが、潜在化し、相談に至らないことがあると考える。	家族だけでも又、匿名でも相談できることや、必要時継続支援もできることを周知する。	人数	7	7	6	11	14	
25	ゲートキーパー養成講座	・様々な悩みを持つ人に周囲の人が気づき、適切な相談窓口につなぐとともに、見守り、本人を支えることができるよう研修会を実施。	通常通り		その他(要記述)	年2回に回数を増やして実施。	新型コロナウイルス感染症の影響で講座を中止にしていた時期があることから、相談支援者等への養成が遅れている。	開催回数を増やし、養成に努める。	人数	-	136	53	18	53	
26	街頭キャンペーン	自殺対策の一環として、駅前などでメンタルヘルス普及啓発用のマスクを配布	その他(要記述)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、今年度から再開。	通常通り		本市の自殺の現状を踏まえて広く市民の方に周知するため、キャンペーンの実施場所や実施方法の検討が必要である。	実施場所や実施方法(のぼりの設置、配布物の内容等)を検討する。	人数	950	-	-	-	2,000	
27	暮らしとこころの総合相談会	・弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士等による「法律問題」「経済問題」「健康問題」「生活問題」等、様々な困りごとを抱えた人に一同に対応するための相談を実施。 ・年3回実施	その他(要記述)	年3回に回数を増やして実施。	その他(要記述)	年4回に回数を増やして実施。	相談件数が増加しており、相談枠の確保と相談希望者が相談したいタイミングで利用できるようにしていく必要がある。	開催回数を増やす。	人数	11	6	4	15	23	
28	こころの健康に関する講演会	全市民を対象にしたメンタルヘルスに関する講演会。年1回実施。	通常通り		通常通り		広く市民に自身のメンタルヘルスについて関心を持ってもらうため、より多くの受講者を集める必要がある。	SNS等による周知を行う。市民が関心を寄せる内容を検討する。	人数	42	-	-	30	17	
29	こころの体温計	簡単な質問に答えることで、今のメンタルヘルスの状態を確認できるシステムを市ホームページに掲載。 通年実施	通常通り		通常通り		年々アクセス数が減少している。	広報やSNS等による周知を行う。	人数	27,072	17,488	6,122	5,213	7,665	
30	産婦健康診査	出産後1か月頃を目安に産婦の心身の健康状態を確認するもの。	通常通り		通常通り				-	-	-	-	290	288	令和4年度から実施。

事業等把握・確認シート

									実績						
NO	事業名称	事業内容	実施状況 (R5)	記述欄	実施状況 (R6)	記述欄	事業を実施する上での課題	考えられる工夫 課題に対する解決策	内容 (単位)	R1	R2	R3	R4	R5	備考・補足
31	歯科保健講座	歯科医師により歯科口腔保健に関する講演 歯科衛生士によるブラッシング指導	通常通り		通常通り				人数	97	-	-	13	23	
32	成人歯科健康診査	18歳以上の市民に対して、歯や口腔内の健康 について関心・予防意識を持ってもらうため、 市が主催となり歯科医師会協力のもと歯科健 康診査を実施。 R3までは集団健診、R4からは個別健診。	通常通り		通常通り		受診率の向上	勧奨通知及び広報等により 事業の周知の充実を図る。	人数	235	208	193	170	132	
33	8020よい歯のコンクール	80歳以上で自分の歯が20本以上ある健康 な方に対して表彰を行う。(埼玉県北足立歯科 医師会)	通常通り	歯科医師会が診査を行い、 表彰式は市と共催	通常通り	歯科医師会が診査を行い、 表彰式は市と共催			人数	25	-	12	17	34	
34	学校歯科健診・歯科指導	小中学校共に歯科健診の実施。 児童生徒による保健委員会では予防教室を行う活 動の実施。	通常通り		通常通り	児童生徒による歯磨き等の啓 発や、ブラッシング指導、学校 保健委員会での講演を行った。	・1人平均う歯数を減らすこと。 ・全ての学校で、学校歯科医と連携す ること。	・Google meetを使用したオン ライン形式でのブラッシング指導 を依頼。(各学校) ・各校へ歯科指導に関する取組を 依頼。	回数	1	1	1	1	1	
35	保育所歯科健診・歯科指導	学校保健安全法の規定に準じ、年2回計画的に歯 科健診を実施。その結果を記録し保護者に伝えて いる。 年1回、歯科衛生士より、むし歯について、歯みが きの仕方等の話を4・5歳児を対象に行う。	通常通り		通常通り				回数	1～2	1～2	1～2	1～2	1～2	
36	フッ化物洗口の実施	埼玉県の「すこやか彩の国21プラン」において乳 幼児期及び学童期の目標の一つとして「幼稚園、 保育所、小学校、中学校におけるフッ化物洗口の 普及拡大」をあげられており、子ども達の歯をむし 歯から守るため、埼玉県の委託に基づき埼玉県歯 科医師会が実施するフッ化物洗口事業(フッ素溶 液によるうがい)を行うもの。 保護者に希望を募り、週1回実施。	通常通り		通常通り				記載不可能	-	-	-	-	-	年長が行っているフッ化 物洗口は回数を重ねる ごとに上手になっている。
37	フッ素塗布	満1歳から就学前までの子供を対象に、フッ素塗布 を行う。(北足立口腔保健センターが主催の事業)	通常通り		通常通り		—	—	人数	144	133	135	98	99	
38	妊婦歯科健康診査	母子手帳交付時に、無料クーポンを配布。 妊娠期間中に1回歯科健診個別受診を勧奨。	通常通り		通常通り		受診者数の減少がみられるが、妊娠前 から治療中の場合は、無料クーポンを 使わず歯科健診を受診している妊婦 がいることも想定できることから、正 確な受診者が不明。	妊娠届・マタニティーセミナー での周知、乳幼児健診時に母 子手帳等から歯科健診の受診 状況を確認する。	人数	74	99	111	114	96	
39	9か月児育児相談	保健師や栄養士、看護師等による育児相談や発育 状況の確認、栄養相談を実施。	通常通り		通常通り				人数	283	156	284	269	273	
40	プレママセミナー・プレパパセミナー	妊婦及びその家族を対象とした、出産前の生活や 食事、出産後に必要な準備などを保健師や栄養士 などが指導・講話をする。	通常通り		通常通り		プレママ・プレパパセミナーの申し込 みが定員を超えることがある。	実施方法、実施回数、実施時期 の見直し。	人数	10	34	42	26	29	R5まではプレママセミ ナーの参加者のみ
41	特定健康診査	疾病の発症予防、早期発見のために問診、身 体測定、血圧測定、血液検査、尿検査等の健康 健診を実施する。	通常通り		通常通り		・受診率が国・県平均は上回るもの の、国の目標値60％に比べ低い 状況となっている	・受診勧奨はがきの送付や 受診者へのインセンティブ 事業を実施する。	人数	4,889	4,519	4,448	4,198	R6.11月頃確定	
	特定保健指導	特定健診の結果で基準に該当した人に向け て、生活習慣改善のための指導を実施する。	通常通り		通常通り		・利用率が低い	・土日実施や実施会場の柔 軟な対応など、受けやすい 環境の整備を進める。	人数	77	89	75	66	R6.11月頃確定	
42	脂質異常症・高血圧教室	特定健診受診者で、脂質または血圧にて軽度 異常が見られた方を対象に2日間コースの健 康教室を行う。	通常通り		通常通り		・集団指導のため発生する理解度 の差や意識付けに差が生じる。	・毎年度効果的な指導内容 や教材について検討しす る。	人数	23	-	21	23	24	
43	糖尿病性腎症重症化予防対策事業(国保)(保健指導)	特定健康診査結果やレセプトデータから、腎症 2期から4期の方を抽出し、既治療者へ保健指 導を行う。	通常通り		通常通り		・参加者が少ない	・医師からの参加勧奨を積 極的に行ってもらうため に、医療機関との協力体制 を密にする。	人数	26	20	14	11	15	
	糖尿病性腎症重症化予防対策事業(国保)(受診勧奨)	特定健康診査結果やレセプトデータから、腎症 2期から4期の方を抽出し、医療機関未受診 者・受診中断者へ受診勧奨を行う。	通常通り		通常通り				人数	49	38	32	37	52	
	糖尿病性腎症重症化予防事業(後期)	後期高齢者健診結果、レセプトから腎症1期～ 4期の方を抽出、かかりつけ医の推薦のあっ た参加者に生活習慣、検査値の改善のための 個別保健指導を行う。	通常通り		通常通り		・対象者、参加者が減少している	・かかりつけ医からの勧奨	人数	-	-	31	11	7	
44	健診異常値未受診者受診勧奨事業	特定健診受診者で、脂質または血圧が要医療 判定の数値かつその後医療機関を受診してい ることがレセプトで確認できない方に対し、医 療機関への受診勧奨を行う。	通常通り		通常通り		・なかなか行動変容につながら ない	・通知文や同封するパンフ レット等について、対象者に 必要性が伝わるようなもの に毎年度検討を行う。	人数	92	37	86	71	94	
45	服薬適正化事業	重複服薬または多剤投与がみられる方に向け て、服薬状況やポリファーマシー、おくすり手 帳の利用についての周知を促す通知を行う。	通常通り		通常通り		・医薬品の飲み合わせや薬効等、専 門的な内容は職員だけでは判断が 難しい。	・医師会と連携し、事業を行 う。	人数	-	60	9	4	1	
46	後期高齢者健康診査	疾病の発症予防、早期発見のために問診、身 体測定、血圧測定、血液検査、尿検査等の健康 健診を実施する。	通常通り		通常通り		・未受診者の中で長期にわたり未 受診の人がいる	・他の保健事業の場を活用 した勧奨の実施	人数	4,586	4,444	4,563	4,996	5,270	

事業等把握・確認シート

									実績						
NO	事業名称	事業内容	実施状況 (R5)	記述欄	実施状況 (R6)	記述欄	事業を実施する上での課題	考えられる工夫 課題に対する解決策	内容 (単位)	R1	R2	R3	R4	R5	備考・補足
47	がん検診事業	市の検診以外で受診機会のない市民を対象にがん検診を実施。 集団：胃、肺、大腸、乳、子宮 個別：大腸、子宮、乳(クーポン対象者のみ)	通常通り		通常通り		要精密検査対象者の未受診者への対策。	精密検査未受診者に対し、受診勧奨策の充実を図る。	人数	11,259	9,714	10,888	10,552	10,644	
48	介護予防サポーター養成講座	イキイキとまちゃん体操の普及及び指導を行う介護予防ボランティアを養成するための講座を開催する。	通常通り		通常通り		養成講座の参加希望者の減少	各通いの場の候補者推薦依頼、候補周知等	人数	382	-	-	121	140	
49	介護予防啓発事業	介護予防に関する普及啓発	通常通り		通常通り				人数	649	131	416	389	312	介護予防の会、高齢者学級等、若返り運動教室合算数値
50	重層的支援体制整備事業	市民が抱える複雑的・複合的な問題に対して、包括的に相談を受け止めるとともに、課題を抱えながらも必要な支援が届いていない人を把握し、信頼関係に基づく関係性を築いていく中で、地域や社会とのつながりづくりの支援を進める。	通常通り		通常通り		本事業を通じた地域づくりの取組として、世代や属性を超えた交流の場や機会の整備、交流・参加・学びの機会のコーディネート、多様な地域活動が生まれる環境整備が求められている。	令和6年度に新たに開設したひきこもりの方を対象とした居場所の運営を継続するとともに、他の地域づくり事業と連携し、支援が必要な人を把握するためのネットワークの形成や世代や属性を超えた交流の機会の拡充を図る。	記載不可能	-	-	(周知)	(準備)	1	委託先 市内1か所
51	地域子育て支援拠点事業	育児講座「お子さんの歯を守ろう」など	通常通り		通常通り				人数	682	409	658	725	559	4支援拠点の合計値
52	地域介護予防活動支援事業	介護予防に資すると判断する住民主体の通いの場等の活動支援	通常通り		通常通り				人数	31	61	56	113	106	介護予防サポーターフォーラアップ講座 R4年度2回実施⇒R5年度3回実施
53	地域交流サロン活動	地域でお互いにつながりをつくる集いの場(サロン)。会場は地域の集会所や公民館。	通常通り		通常通り				その他	40	49	48	48	48	高齢者等が集まる交流サロンの設置開催箇所数を計上(社協事業)
54	健康増進センターにおける体操教室の実施	健康増進センターにおいて、健康増進に資する各種体操教室を開催する。	通常通り		通常通り				回数	98	59	72	143	191	
55	生活支援体制整備事業	高齢者の支援体制や社会参加の推進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置を行う。	通常通り		通常通り				人数	5	5	5	5	5	コーディネーター配置人数
56	イキイキとまちゃん体操通いの場支援	『イキイキとまちゃん体操』とは、歩いていける“通いの場”でご近所仲間と一緒に行うシニア向けの体操である。 歩いて通える地域の集会所等で、住所同士の運営により、週1回以上実施され効果検証が行われる介護予防の取り組みを推進するため、埼玉県リハビリテーションケアサポートセンターと連携し、体操の普及やボランティアの養成、通いの場の活動(立ち上げ)支援を行う。	通常通り		通常通り				人数	-	51	111	114	368	R4年度6か所実施⇒R5年度10箇所実施
57	高齢者学級の実施	一般高齢者を対象とし、介護予防に関する知識の普及・啓発のための講座を実施する。	通常通り		通常通り				人数	217	36	24	51	80	
58	農業生産者招待給食	地元産及び県内産食材や郷土食等についての理解を通してふるさとへの愛着を深める目的で、「彩の国ふるさと学校給食月間」の事業の一環として実施している。	通常通り	コロナ禍で中止となっていた生産者招待給食を3年ぶりに実施し、生産者と一緒に給食を食べ、地場産野菜について理解を深めることが出来た。	通常通り				人数	18	16	0	0	17	